

## 参考：ニューヨーク市における公衆無線LANについて

### LinkNYC（公衆無線LAN機能を持つキオスク端末）

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「LinkNYC」は街中の電話ボックスを無料Wi-Fiスポットのキオスクに置き換えるプロジェクト。（2015年より導入開始）</li> <li>公衆無線LANの他に、緊急サービスへの通報や行政サービスへのワンタッチ接続、USB接続での充電機能、国内無料VoIPサービス、そしてデジタルサイネージとタブレットの機能が備わっている。その運営費はデジタルサイネージへの広告掲載で賄われるというビジネスモデルである。2024年時点で約2000台ほどが設置されている。</li> </ul>
<p>経緯</p>	<p>設置目的の1つにデジタルデバイドの解消がある。プロジェクト構想段階で、ニューヨーク市民の25%が家にインターネット環境が無く、さらにその32%が失業者であった。そのため、インターネット環境が無い世帯へのインターネットアクセスを確保する目的があった。</p>
<p>機能の特徴</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>1 超高速無料Wi-Fi</li> <li>2 タブレットから行政サービス、地図、ルートマップにアクセス可</li> <li>3 米国内への無料通話（個人のヘッドフォンを接続）</li> <li>4 緊急電話（911）</li> <li>5 充電 USB ポート</li> <li>6 洗練されたデザインで、歩道のスペースを広く活用</li> <li>7 視覚障害のあるユーザーや弱視のユーザー向けに、2つの55インチHDディスプレイで公共サービスや関連性の高い広告を表示</li> </ul> </div>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月に累積利用者数は1,500万人に到達。また、HR&amp;A Advisorsのレポートによるとこれまでに市に1億1,900万ドル以上の収益をもたらしているとされる。（詳細はデスクトップリサーチでは確認できず）</li> <li>行政サービスアプリで多く検索された単語が「仕事」「住宅」「公的給付金」であり、地図アプリにて検索キーワードとして多かったのはホームレスを対象として食料や衣服を提供する団体の名称、電話先として最も多かったのが州によって配布される困窮者向けの電子給付カードのヘルプデスクだった。このことから、インターネット環境が無いホームレスや失業者等に多く利用されていることが推察される。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置計画は遅れており、設置個所も世帯収入が多いマンハッタン区に偏り、周辺区への設置が進んでいない。</li> <li>広告収入は当初予測を大幅に下回り、2019年にはニューヨーク市への支払いが滞り、2020年には議会において契約終了も議論された。</li> </ul>
<p>参考 出典</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要/経緯/効果/課題、一般社団法人 無線LANビジネス推進連絡会HP、<a href="https://www.wlan-business.org/archives/40159">https://www.wlan-business.org/archives/40159</a>、2024-11-12</li> <li>機能の特徴、LinkNYC 公式HP、<a href="https://www.link.nyc/home.html">https://www.link.nyc/home.html</a>、2024-11-12</li> <li>効果、「PR Newswire」掲載記事、<a href="https://www.prnewswire.com/news-releases/linknyc-celebrates-15-million-free-wi-fi-users-and-1-2-billion-impact-on-new-york-city-economy-302125863.html">https://www.prnewswire.com/news-releases/linknyc-celebrates-15-million-free-wi-fi-users-and-1-2-billion-impact-on-new-york-city-economy-302125863.html</a>、2024-11-12</li> </ul>

## 参考：ニューヨーク市における公衆Wi-Fiについて

### 各種公衆無線LAN

以下の公共施設には、市の公衆無線LANが整備されている。

施設種別	概要
公共図書館	全ての公共図書館では、通常のサービス時間中に無料のWi-Fiを提供している。
市立公園	<p>市内の多くの公園では、Wi-Fiサービスを利用できる。                      公衆無線LAN提供事業者は大きく以下の3社に分かれており、提供条件はそれぞれ異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ AT&amp;T社は、全てのユーザーにWi-Fiをいつでも無料で提供</li> <li>➤ Cablevision社とTime Warner Cable(Spectrum)社は、10分間の無料Wi-Fiセッションを30日ごとに3回提供している。1日パスは99セントで購入可。※WiFiサービスは、Cablevision社のOptimum OnlineおよびTime Warner Cable(Spectrum)社のブロードバンド加入者にいつでも無料</li> </ul>

### (参考) 公営住宅居住者向けの無線LAN提供施策 (Big Apple Connect)

- 2022年9月にNYC技術革新局 (Office of Technology and Innovation) は、市公営住宅 (NYCHA) 居住者向けに無料で、高速で、信頼性が高く、安全なインターネットを提供する取組を開始。(Big Apple Connect)
- 対象開発地のNYCHA居住者は、以下を無料で受け取ることができる。
  - ダウンロード速度が最大300Mbpsのインターネット接続
  - 無線ルーター
  - モデム
  - 基本的なケーブルテレビ
  - ケーブルボックスとリモコン

参考  
出典

- 各種公衆無線LAN、NYC311公式HP、<https://portal.311.nyc.gov/article/?kanumber=KA-03096>、2024-11-12
- 「Big Apple Connect」、NYC311公式HP、<https://portal.311.nyc.gov/article/?kanumber=KA-03558>、2024-11-12